【大学・地域共創プラットフォーム香川】

令和５年度第２回総会　議事次第

開催日時：令和６年３月 27 日（水）10:30～11:30

開催場所：香川大学幸町北キャンパス　法人本部（４階）大会議室

（高松市幸町 1－1 幸町北キャンパス内）

開会

挨拶

１．会長挨拶

２．知事挨拶

議題

１．令和６年度事業計画（案）及び予算（案）について

（資料１-１、１-２、１－３）

２．副会長及び監事の選任について　（資料２）

３．その他

報告

１．令和５年度事業の実施状況について　（資料３-１、３-２）

２．令和５年度大学・地域共創プラットフォーム香川

産学官共創チャレンジ支援補助金について　（資料４-１、４-２）

３．私立大学等改革総合支援事業及び中長期計画への対応について　（資料５）

４．部会幹事及び副幹事について　（資料６）

５．令和５年度名義使用の許諾について　（資料７）

６．その他

・地域中核・特色ある研究大学強化促進事業について（香川大学）（資料８）

閉会

【参考資料】

１．大学・地域共創プラットフォーム香川総会委員名簿及び配席図

２．大学・地域共創プラットフォーム香川規約

３．大学・地域共創プラットフォーム香川部会設置規程

資料1-1

令和6年度事業計画(案)

1. 共創推進強化事業 (共通)

取 組	種 別	内 容
① 地域共創タウンミーティングの開催	継続	県内各自治体における、大学等と現地ステークホルダーとの意見交換等の拡充
② プラットフォームの枠組みを活用した新規実証事業	継続	産学官共創チャレンジ支援補助金によるPFの枠組みを活用し、構成員が企画・提案、実証・実践する若者の県内定着や地域課題解決に資する取組み
③ ホームページを活用した効果的な情報発信	拡充	各部会が実施する各種事業について、ホームページを活用した効果的な情報発信
④ 県内企業の多様な人材確保支援	新規	県内企業の中途採用や高度外国人材の活用、早期離職者等に関する実態調査と分析を行い、多様な人材確保のための具体的な対策を提案(プロジェクトチーム)

2. 高大連携・進学推進事業 (進学・教育部会)

取 組	種 別	内 容
① 出前講座・体験講座等への講師派遣	継続	高校生等を対象に、大学等の教職員がそれぞれの専門分野を活かした出前講座・体験講座の提供を強化・拡充(出前講座、香川わくわく子ども大学、探究型学習支援プロジェクト)
② 県内大学等合同進学説明会開催	拡充	県内大学等が高校に出向き、合同で実施する説明会を、ロールモデルとしての卒業生の参加や運営方法の改善を通じ、より効果的に実施
③ 教員対象県内大学等合同進学説明会開催	継続	高校教員を対象に県内大学等が合同で説明会を実施
④ 高大連携キャリアデザイン研修	拡充	県高等学校PTA連合会との連携による保護者対象の研修事業を実施(合同説明会、大学等訪問、機関誌やホームページでの広報)
⑤ デジタルキャンパスガイドの効果的な活用	拡充	Web広告等を活用し、デジタルキャンパスガイドを県内外の高校生に広く情報発信
⑥ 外国人留学生対象の合同進学説明会開催	新規	日本語学校などの外国人留学生を対象にした県内大学等への進学促進のための合同説明会の開催

3. 大学等連携強化事業 （進学・教育部会）

取 組	種 別	内 容
① 大学間の単位互換	拡充	多様かつ柔軟な学修を推進するため、県内大学等の開設科目の相互履修と単位認定を実施、新たに授業科目の共同開発を検討
② 大学等教員のFD・SD研修の実施	継続	大学等教職員研修の共同実施
③ 国際交流会（学生）の開催	拡充	県内大学等の留学生交流会を、参加大学等を拡大・拡充して開催
④ リスクマネジメント活動	継続	災害等に対するリスクマネジメント体制の構築
⑤ 地域における高等教育の中長期グランドデザイン検討会	継続	大学等の地域における教育改革や教育改善につなげる中長期グランドデザインについて情報交換・検討
⑥ 数理・データサイエンス・AI教育事業	継続	県内高等教育機関の学生が、数理・データサイエンス・AIを習得できる教育体制の構築・普及

4. キャリア支援事業 （就職・産業振興部会）

取 組	種 別	内 容
① 「かがわーくフェア」の強化・充実	継続	各機関が連携して参加学生の拡大と新たな魅力づくりを行うなど、合同企業説明会の強化・充実
② 業種別オンライン県内企業見学ツアー	拡充	対象を県外大学生にも拡大し、香川県内企業による動画等を用いた業種別の企業説明会の開催
③ うどん県の自治体で働こう大懇談会	継続	香川県内の自治体等の担当者やOB・OGが一堂に集まる大懇談会の開催
④ 学生・企業の就職先選定等の実態把握と対策の検討	継続	県内企業の採用活動状況調査及び学生の就職活動状況調査を踏まえ、若者の県内定着について、実態把握と対策を検討（地域活性化部会と連携）
⑤ 外国人材活用セミナー＆交流会	新規	県内中小企業に対し、外国人材の活用や雇用方法等に関するセミナー開催とともに、外国人留学生と企業が接する機会を作る交流会の開催
⑥ 学生と県内企業との交流会	新規	県内大学生のキャリア支援を目的に、県内大学等出身の著名人による講演及び学生と若手OB・OG社員との座談会の開催

5. 地域企業魅力発信強化事業 （就職・産業振興部会）

取 組 名	種 別	内 容
① 学生による企業インタビューシップの実施	継続	高校生・大学生等が企業に出向いて経営者や従業員にインタビューする「インタビューシップ」の実施
② 高校、大学等のイベント等を活用した地域の魅力発信	拡充	高校、大学等のイベントに県内産業に関するブースを出展し、県内企業や団体の魅力発信に加え、ワークショップを通じた企業・事業紹介
③ 地元中小企業魅力発見ツアー	新規	県内高校生や大学生を対象とする県内中小企業の見学ツアーを実施し、県内企業の魅力発信を強化

6. 地域活性化実践事業 （地域活性化部会）

取 組 名	種 別	内 容
① 学生等による観光等地域資源の情報発信	継続	観光等の地域資源を題材に学生らによる体験取材やインバウンド向けを含む情報発信を実施、効果的な発信のための講習会の開催
② 地域活性化に係る先進事例勉強会の開催等	継続	地域活性化に取り組む先進事例（県外事例も対象）からそのポイント等を学ぶ勉強会の開催、他地域への横展開の検討
③ 産学官関係者の連携強化に向けた交流促進	継続	地域で活躍する産学官関係者や学生らがつながり、相互理解を深め、連携事業創出のための基盤づくりを進める交流会等の開催
④ 地域を支える人材等に関する実態把握	拡充	人材の県内定着の観点から、地域の社会経済を支える様々な人材等について、その動向や実態の把握、対策の検討
⑤ 学生との連携を図る活動情報の集約・発信の仕組みづくり	新規	自治体や企業などが、学生との連携・参画を図って実施する活動・イベント・行事等の情報を広く集約、共有、発信する仕組みづくりに取り組む

資料1-2

令和6年度予算（案）

（単位：千円）

項　目	金　額	備　考
【収入の部】		
前年度繰越（見込）	1,330	
会費（35機関）	8,100	県内大学等(7) 3,150 経済団体等(8) 800 市町(17) 850 香川県 3,300 （内訳：別紙のとおり）
県補助金	30,000	産学官共創チャレンジ支援補助金
収入計	39,430	

項目	金額	備考
【支出の部】		
事業費 事務費	9,430	5,430 高大連携・進学推進事業、大学等連携強化事業、キャリア支援事業、地域企業魅力発信強化事業、地域活性化実践事業など 4,000 事務局・部会運営費など
事業費(県補助対象)	30,000	プラットフォームの枠組みを活用した新規実証事業（共創推進強化事業）など
支出計	39,430	

資料１－２
別紙

大学・地域共創プラットフォーム香川会費

１．令和６年度における会費については、プラットフォームの事務局・部会の運営に要する経費及び大学等の広報事業に要する経費等をもとに算定し、次の表に記載の額とする。
２．香川県が負担する会費には香川県立保健医療大学の会費を含むものとする。

○県内大学等（順不同）

名称	会費
香川大学	450 千円
香川県立保健医療大学	－
四国学院大学	450 千円
徳島文理大学	450 千円
高松大学・高松短期大学	450 千円
香川短期大学	450 千円
せとうち観光専門職短期大学	450 千円
香川高等専門学校	450 千円

○経済団体等（順不同）

名称	会費
香川県商工会議所連合会	100 千円
香川県商工会連合会	100 千円
香川県中小企業団体中央会	100 千円
香川経済同友会	100 千円
香川県中小企業家同友会	100 千円
香川県農業協同組合中央会	100 千円
香川県漁業協同組合連合会	100 千円
香川県銀行協会	100 千円

○行政機関（順不同）

名称	会費
高松市	50 千円
丸亀市	50 千円
坂出市	50 千円
善通寺市	50 千円
観音寺市	50 千円
さぬき市	50 千円
東かがわ市	50 千円

三豊市	50 千円
土庄町	50 千円
小豆島町	50 千円
三木町	50 千円
直島町	50 千円
宇多津町	50 千円
綾川町	50 千円
琴平町	50 千円
多度津町	50 千円
まんのう町	50 千円
香川県	3,300 千円

香川県産学官共創チャレンジ支援補助金
（R6年度補助総額：30,000千円）（令和6年2月県議会提案予算）

令和6年3月
香川県政策部

資料１－３

＜目的＞

産学官が連携して地域課題の解決に果敢に挑戦する取組みに対し、県が「大学・地域共創プラットフォーム香川（以下「PF」）を通じて助成を行い、地域の社会経済を支える人材の育成・定着及び人材が活躍する場の形成を図る。

＜制度概要＞

・補助対象者：ＰＦ、ＰＦの構成員、ＰＦが適当と認める者
※産学官からそれぞれ１者以上参画する必要があります
・補　助　率　：１０分の１０以内
・補助対象経費：補助対象事業の実施に要する経費（一部、補助対象外経費の定めあり）
・補助の流れ　：事業計画書をPFに提出→ＰＦから申請→県審査、交付決定→実績報告→県補助金交付（概算払いあり）

＜補助対象事業＞

地域の社会経済を支える人材の育成・定着及び人材が活躍する場の形成を図る事業

分野	取組み例
1　小中学生らが将来も香川県に関わる関わりしろづくり	小中学生や保護者が県内の大学等や産業に関心を持つなど、将来的に香川県に関わるきっかけづくりをする取組み
2　県内大学等への進学や県内企業への就職	高校生やその進路選択に影響を与える保護者や教員等にアプローチし、中小企業や大学等について理解を深める取組み
3　UJIターン促進	県内外の学生等とUターン先輩社員等をつなぐイベントの開催など、県内就職等に目を向けてもらう取組み
4　外国人等の活躍支援	外国人留学生や技能実習生等が本県の魅力に触れ、活躍できるよう、交流会や県内就職支援等を行う取組み
5　デジタル技術の活用	人材不足等地域の課題解決のため、デジタル先端技術の活用や人材の育成等について大学等と連携して促進する取組み
6　人生100年時代の教育展開	県内大学等が中小企業等と連携して行うリスキリング教育など、キャリア形成支援を充実させる取組み
7　関係人口連携・協働	県外学生などの関係人口を地域に呼び込み、滞在させる拠点づくりや、受け皿となる支援組織の立上げ等を行う取組み
8　魅力ある地域づくり支援	地域おこし協力隊が、県内外の学生や中小企業等と連携・協働し、自らの地域課題の解決を図る取組み
9　若者チャレンジ企画応援	中高生や大学生らが自ら企画し、中小企業や大学、自治体等と連携して地域活性化に向けてチャレンジする取組み
10　新たな研究成果実証	県内大学等の新たな研究成果を、県内の中小企業等と連携して県内地域で実証・ＰＲする取組み
11　地域資源開発	県内大学等や中小企業、自治体等が連携して、地域資源を活用した新商品等を開発し、地域をＰＲする取組み
12　その他：「教育、働き方、女性活躍」「空き家対策、防災、防犯、安全・安心の確保」「スポーツ、文化、エンターテインメント」「子育て、健康」、「産業振興、物流、交通」「環境・エネルギー」「まちづくり、地域コミュニティ」	

＜想定スケジュール＞

問合せ・相談の受付開始(３月下旬)→事業計画書のPF事務局受付(５月上旬)→
ＰＦから県へ申請(５月中旬)→ 県の審査・交付決定(６月以降)→
補助対象の事業期間(交付決定後～R7.2.28、事前着手可）→
実績報告(R6.3.10又は事業完了後10日経過後まで)

※お問合せ先や詳細に関する募集要領等は、順次公表していきます。

補助金を活用した取組み事例

大学祭等での企業紹介やワークショップを通じて、大学生に地元企業の魅力に触れてもらう
（QRコードでアンケート結果が見られます）

VRゴーグルを使って薬剤師の活躍の現場をヴァーチャル体験し、薬剤師という職業や薬学部への進学に興味を持ってもらう

中小企業の社員を対象とする大学のハンズオン研修(リスキリング・リカレント教育)により、県内企業のDX推進のための人材の育成を行う

高校生が県内企業の見学や経営者・若手従業員との対話を通じて、地元で働くことを考えるきっかけにする

＜よくあるＱ＆Ａ＞

Ｑ　補助対象事業に要件はあるの？

Ａ　学生の地元進学を促す取組みや地元企業のデジタル技術の活用など、産学官が連携して地域の課題解決に挑戦する事業は幅広く申請いただけます。

Ｑ　民間企業でも申請できるの？

Ａ　民間企業でも可能ですが、PFの構成団体に加盟しているなど、一定の条件があります。なお、県外企業も、要件を満たせば補助対象事業に参画できます。

Ｑ　補助対象事業費・補助金の上限・下限はあるの？

Ａ　補助対象事業費や補助金には上限・下限はありませんので、人材育成等につながる取組みに幅広く活用いただけます。なお、審査により認められない場合があり、交付額は県予算の範囲内で決定されます。

Ｑ　PCやタブレットなど、備品購入は補助対象となるの？

Ａ　備品購入費は、事業の実施に必要な一定の範囲で補助対象になりますが、土地家屋や車両及び汎用性があって目的外使用が可能なものは、原則として対象外となります。

※詳細は、交付要綱・募集要領、Ｑ＆Ａ等でお示しします。

資料２

大学・地域共創プラットフォーム香川
副会長及び監事の選任について

令和６年３月 31 日を以て、現副会長及び監事の任期が満了します。

副会長及び監事は、大学・地域共創プラットフォーム香川規約第８条第２項の規定により、総会において互選により選任するとされているところであり、下記選任案を提案します。

副会長	監事	監事
四国学院大学長	高松市長	香川県商工会議所連合会会長

任期：令和６年４月１日～令和８年３月 31 日

大学・地域共創プラットフォーム香川規約

（選任等）

第８条 プラットフォームに会長を置き、会長は、香川大学長をもって充てる。

２ 前条の副会長及び監事は、別表の左欄に掲げる構成員において、同表の右欄に掲げる役職にある者のうちから、総会において互選により選任する。

３ 副会長及び監事の任期は２年とし、再任を妨げない。

資料3-1

令和5年度事業実施状況

1. 共創推進強化事業（共通）

取　組	実施概要
① 地域共創タウンミーティングの開催	地域共創タウンミーティング in まんのう町を開催（9/25） 地域住民の方から地域が抱える課題に対する考え方などを伺い、産学官の様々な観点から意見交換を行うことを目的として実施
② メタバース等を活用した地域 DX の実証	香川大学において、メタバースを活用した県内企業等見学ツアーを開催（8/29 開催、8/30～9/5 メタバース空間自由訪問期間） 【参加者】 当日 50 名（香川大学 41 人、四国学院大学5名、高松大学4名） 自由訪問 27 名（香川大学 27 名）
③ プラットフォームの枠組みを活用した新規実証事業	大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ支援補助金を創設し、産学官による新たな連携事業を推進 【交付決定件数】 10 件

2. 高大連携・進学推進事業 （進学・教育部会）

取　組	実施概要
① 出前講座・体験講座等への講師派遣	出前講座実施件数：144 件（3/15 現在） 県内大学等で実施する出前講座の情報を集約し、県内高校へ周知 香川わくわく子ども大学開設講座数：13 講座 【参加者】小学生 286 名（親子 232 組） 各県内大学等がそれぞれの特色を生かして、県内小学生を対象とする講座を開設
② 県内大学等合同進学説明会開催	4校（香川中央高校、高松中央高校、小豆島中央高校、高松東高校）で実施。延べ 792 名の高校生に対し、県内大学の魅力等を発信 また、県内高校卒業・県内大学進学・県内企業就職の OB/OG が参加し、ロールモデルとして県内大学等の魅力を PR
③ 合同大学説明会・交流会開催	県内高校教員を対象とする県内大学等による合同の説明会・交流会の開催に向けた検討
④ 高大連携キャリアデザイン研修	香川県高等学校 PTA 連合会との連携により、保護者を対象とする「第1回県内大学・短大合同進学説明会」を開催（12/9） 【参加者】 県内高校保護者・生徒・教員　対面約 190 名、オンライン約 140 名
⑤ 探究型学習支援プロジェクトへの講師派遣	高松北高校に徳島文理大学の教員を派遣（11/24）
⑥ デジタルキャンパスガイドの作成・公開	県内大学等の情報をまとめた Web サイト「かがわキャンパスガイド」を作成・公開（9/28 公開） 高校1、2年生対象に、学習アプリでの広告配信（3/6～3/11） 【閲覧者数】 2,421 名（3/15 現在）

3. 大学等連携強化事業 （進学・教育部会）

取　組	実施概要
① 単位互換	開設科目数 554 受講者数 10人
② 大学等教員のFD・SD研修の実施	・「地方大学の新たな選択肢～これからの魅力ある地方大学とは～」(9/22、PF香川主催)参加者数 27名 ・危機管理シンポジウム(12/4、香川大学主催、PF香川共催) 【参加者】189名(会場69名、オンライン120名) ・数理・データサイエンス・AI共育強化拠点コンソーシアム四国ブロックシンポジウム(3/6、香川大学主催) 【参加者】92名(会場41名、オンライン51名)
③ 国際交流会(学生)の開催	県内大学等の留学生を対象とする交流会を開催(12/17) 【参加者】 県内大学等留学生 5名(カンボジア、韓国、中国)
④ リスクマネジメント活動	危機管理シンポジウム(12/4、香川大学主催、PF香川共催) 参加者数 189名(会場69名、オンライン120名)
⑤ 地域における高等教育の中長期グランドデザイン検討会	講師(リクルート進学総研所長 小林浩氏)を招聘し、県内大学等の担当者向けの講演を実施、意見交換(9/22)

4. キャリア支援事業 （就職・産業振興部会）

取　組	実施概要
① 「かがわーくフェア」の強化・充実	令和6年3月大学・短期大学・高等専門学校・専修学校などの卒業予定者(既卒者含む)及び一般採用希望者(就職氷河期世代を含む)を対象とした、対面方式による「就職面接会」及びオンライン形式による「個別面接」を開催 【参加者】 令和5年4月開催 対面 延148人/オンライン 延27人 令和6年3月開催 対面 延 142 人
② 業種別オンライン県内企業見学ツアー	香川県内企業による動画等を用いた業種別の企業説明会を開催 【参加者】(全て web 参加者) 8月 23 日(水) 16人 8月 31 日(木) 25人 9月 6 日(水) 45人 86 人(香川大学 23 人、四国学院大学4人、徳島文理大学9人、高松大学・高松短期大学 6 人、香川短期大学 38 人、香川高専6人)
③ うどん県の自治体で働こう大懇談会	香川県内の自治会当の担当者や OB/OG が一同に集まる大懇談会を開催(9/20) 【参加者】 19 人(香川大学 18 人、四国学院大学1人)
④ キャリア支援研修会	株式会社レクザムの人事担当者が、県内大学等学生を対象に企業目線での就職活動のポイントを分かりやすく解説(10/24) 【参加者】 13人(香川大学3人、四国学院大学2人、徳島文理大学4人、高松大学4人)

⑤ 学生の就職先選定等の実態把握と分析	就職先選定時に学生が重視するものと県内企業が採用活動時に重視するものなどのギャップを把握し、今後の取組みにつなげていくために、県内企業(1,000社)を対象とする採用活動に関するアンケート調査を実施(地域活性化部会と連携) 調査報告書を作成中

5. 地域企業魅力発信強化事業 (就職・産業振興部会)

取 組	実施概要
① 学生による企業インタビューシップの実施	高校生・大学生等が企業に出向いて経営者や従業員にインタビューし、魅力ある地元企業を知ってもらう「共育型インターンシップ」、「インタビューシップ」を実施 【高校生】 4校(三木高校、高松商業高校、飯山高校、志度高校) 225 人 【大学生】 高松大学 9名
② 高校、大学等のイベント等を活用した地域の魅力発信	香川大学祭に香川県漁業協同組合連合会、香川県農業協同組合中央会がブース出展し、県産農畜水産物やその生産に関わる団体の魅力発信 【参加者】 464 名(大学生 270 名、その他 194 名)

6. 地域活性化実践事業 (地域活性化部会)

取 組	実施概要
① 学生による観光資源の情報発信等	学生や市町の地域おこし協力隊が自治体職員と連携して、取材・記事作成を行い、若者を惹きつける県内の観光資源等について、県公式SNS等に記事を投稿し、若者目線で県内地域の魅力を発信 【大学生】 ①9月:高松市内店舗 ②・③10月:東讃地域観光スポット 【協力隊】 ④・⑤2月:小豆島町内 ⑥・⑦2月:三豊市内 3/15時点リーチ数 ①:15,350 ②:26,489 ③:18,692 ④:8,019 ⑤:12,472 ⑥:14,526 ⑦:13,038
② アンケート調査の詳細分析等と対策検討	昨年度実施した就活生へのアンケート調査結果を定性的に深掘りするため、大学生や企業社員へのインタビュー調査を実施(19名)。両調査結果を基に産学官メンバーで、若者の県内定着に向けた対策を検討
③ 関係案内所等の先進事例勉強会の開催等	地域活性化に取り組む県内の先進事例から学び、他地域への展開を図るため、スタートアップや地域の産業界による人材育成の取組みをテーマとする勉強会を三豊市で開催 【参加者】 大学教職員、大学生、自治体職員、地域づくり団体等 39名
④ 産学官関係者の連携強化に向けた交流促進	産学官関係者が一堂に会し、プレゼンテーションや懇親会をとおして相互理解を深め、新たな連携事業創出の基盤づくりを目的とする交流会を開催(2/2) 【参加者】 大学教職員、経済団体職員、企業役員・社員、自治体職員等 97名

資料3-2

大学・地域共創プラットフォーム香川　令和５年度予算執行状況報告（見込み）

（単位：円）

項目	予算額	執行状況	比較増減	内容
【収入の部】				
前年度繰越額	1,400,000	1,239,795	▲ 160,205	
会費(35機関)	8,100,000	8,100,000	0	(内訳)県内大学等(7)　3,150千円 経済団体等(8)　800千円 市町(17)　850千円 香川県　3,300千円 ※高松大学及び高松短期大学は一法人として負担 ※香川県立保健医療大学は香川県負担分に含む
県補助金	30,000,000	14,972,000	▲ 15,028,000	産学官共創チャレンジ支援補助金
預金利息	0	25	25	
収　入　計	39,500,000	24,311,820	▲ 15,188,180	

項目	予算額	執行状況	比較増減	内容
【支出の部】				
事業費 事務費	9,500,000	8,007,393	▲ 1,492,607	地域共創タウンミーティング、デジタルキャンパスガイド作成、企業向けアンケート調査、産学官連携交流会他 人件費、ホームページ作成、印刷費、通信費など
事業費(県補助対象)	30,000,000	14,972,000	▲ 15,028,000	産学官共創チャレンジ支援補助金（10事業）
次年度繰越	0	1,332,427	1,332,427	県補助金、事業費（県補助対象）を除く
支　出　計	39,500,000	24,311,820	▲ 15,188,180	

資料3-1
補足

－共創推進強化事業（共通）－

地域共創タウンミーティングinまんのう町（共創推進強化事業（共通））

●地域住民の方から地域が抱える課題に対する考え方などを伺い、産学官の様々な観点から意見交換を行うことにより、大学・地域共創プラットフォーム香川の今後の取組みに生かすことを目的として新たに実施

●まんのう町の協力のもと、まんのう町住民の方とPF構成員が意見交換を行い、地域課題や解決策などについて、率直なご意見をいただいた

●空き家対策のための古民家改修補助や豊かな自然という強みを生かしたまんのう町の魅力発信など、意見交換の内容は、地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着及びその人材が活躍する場の形成に向けたプラットフォームの今後の取組みの検討材料となった

メタバース等を活用した地域ＤＸの実証（共創推進強化事業（共通））

メタバース（仮想空間）に、県内企業等がブースを設置し、学生は興味がある県内企業等の説明を受け、企業担当者と質疑応答

・実施日時：令和５年８月29日（火）
　　※８月30日～9月５日は自由見学期間
・実施主体：香川大学（キャリア支援センター）
・参加学生数：50名（香川大学41名、四国学院大学５名、高松大学４名）
　　※自由見学期間に27名（香川大学27名）
・参加企業等：県内企業等17団体（県内企業15、自治体２）
・実施結果等：学生アンケートの結果、県内企業への理解度が向上するとともに、自身のキャリア観の醸成に繋がった

＜当日の様子＞

ー進学・教育部会の主な取組みー

県内大学等合同進学説明会

- 大学５校、短期大学３校が合同で高校に出向き、高校生に対し県内大学の魅力等を発信
- 県内で進学し、県内企業に就職した卒業生がロールモデルとして参加
- 実績（令和５年度）

香川中央高校	６月15日（木）	２年生	283名
高松中央高校	７月３日（月）	１年生	134名
小豆島中央高校	７月20日（木）	１～３年生希望者	135名
高松東高校	９月27日（水）	１年生	240名

<合同進学説明会の様子>

高大連携キャリアデザイン研修

- 県高等学校PTA連合会との連携により、「第１回県内大学・短大合同進学説明会」を開催
  高校生の保護者へ県内大学等の魅力を発信

開催日：令和5年12月9日（土）
会　場：国際会議場
参加者：県内高校生・保護者・高校教員等
　　会場 約190名、オンライン 約140名

香川県高PTA連だより　第19号

せとうち観光専門職短期大学

- 日本で唯一の観光専門職短大

- 観光は日本の重要な産業の柱

- 注目の教育施設「ウリキュラム」で

- 期待されている観光人材

- 機関誌「高Ｐ連だより」に県内大学等情報を掲載

出前講座・体験講座等への講師派遣

●高校や中学校に大学等の教職員が出向き、
授業や講演を実施　144件 (3/15現在)

<アンケート結果：回答数 22件>
・講座の内容について
期待以上だった 50.0%
期待通りだった 50.0%

●小学生を対象に大学・短大で講座を開設
13講座　　参加者数：小学生286名

<アンケート結果：回答数 200件>
・満足度について
とても満足できた 84.5%
満足できた　　15.0%

●探究型学習支援プロジェクトとして
講師を派遣し、生徒の研究成果を指導・講評

11/24
香川県立高松北高校
2年GS成果発表会
・運動部活動の地域移行
・身近な食品ロス　など
6テーマを発表

学生の国際交流

●うどん打ち体験　参加者6名　12/17実施
出身国：カンボジア、韓国、中国、日本

デジタルキャンパスガイドの作成・公開

●県内大学等の情報をＷｅｂサイト「かがわキャンパスガイド」を作成（9月28日公開）

●県内高校生向けに周知チラシを配布
（10,500部。県内高校43校、中学校71校等）

閲覧者数　2,421(3/15時点)

<学習アプリ広告画面>

ー就職・産業振興部会の主な取組みー

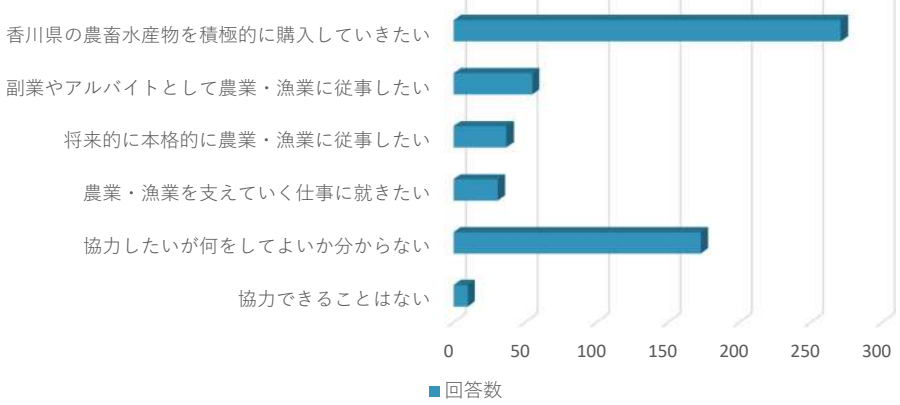
高校、大学等のイベント等を活用した地域の魅力発信

香川大学祭にブースを設置し、学生をはじめとする来場者に対する県産農畜水産物及びその生産に関わる団体の魅力発信

・実施日：令和５年10月28日（土）
・場所：香川大学（香川大学祭）
・実施主体：香川県漁業協同組合連合会、香川県農業協同組合中央会
・来場者数：464名（大学生270名、その他194名）

<イベント当日の様子>

<来場者アンケート：あなたは地域農業・漁業を応援するためにどのようなことに協力したいと思いますか。>



学生による企業インタビューシップの実施

大学生が企業に出向いて経営者や従業員にインタビューする「インタビューシップ」の実施
地元で働く意味を考え、自身のキャリア観を見直すきっかけとなった

【大学生】
・実施主体：高松大学　蓮井教授、香川県中小企業家同友会
・参加者数：高松大学生（「キャリア開発演習Ⅱ」受講生９名）
・参加企業数：県内企業７社
・実施日：12月20日（水）実施

「地域で若者を育て地域に若者が戻る（残る）、地域に若者が希望をもって帰ってくる活動」として高校生を対象にした「共育型インターンシップ」が中小企業家同友会にて実施

【高校生】
・実施主体：香川県中小企業家同友会
・参加者数：県内４校（三木高校、高松商業高校、飯山高校、志度高校）
　　高校生延べ225名
・参加企業数：県内企業170社
・実施時期：4月から準備を開始し、夏季休暇期間中（※志度高校は10月実施）に実施

<発表の様子>

学生の就職選定等の実態把握と分析

令和４年度に、地域活性化部会が実施した学生向け「就職活動の状況等に関するアンケート調査」の結果を踏まえ、学生の就職活動と県内企業の採用活動との間にあるギャップ等を把握することを目的に、県内企業向け「採用活動の状況に関するアンケート調査」を実施

・対 象 企 業：香川県に本社を置く企業　1,000社
・有効回答数：348社
・設 問 内 容：県内企業が求める人材
（新卒、中途採用、外国人材等）、
採用活動におけるＰＲポイント、
採用スケジュール　など
・回 答 期 間：１月15日～２月9日
・調 査 結 果：集計内容を基に報告書を作成中

香川県内企業　採用活動の状況に関するアンケート調査

■回答者情報および企業などの属性についてお聞かせください。

貴社名			
部署・役職名		御担当者名	
電 話		E-mail	
業 種	A_農業・林業・漁業	B_建設業	C_製造業
	D_電気・ガス・水道業	E_情報通信業	F_運輸業・郵便業
	G_卸売業・小売業	H_金融業・保険業	I_不動産業・物品賃貸業
	J_宿泊業・飲食サービス業	K_教育・学習支援業	L_医療・福祉関連業
	M_サービス業（他に分類されないもの）		
	N_公務・団体（他に分類されるものを除く）		
	O_その他（　　）		
従業員数 ※採用パート含む	1. 30 人未満	2. 30 人以上	3. 50 人以上
	4. 100 人以上	5. 500 人以上	6. 1,000 人以上

※本調査の結果につきましては、貴社の情報が公表されることはありません。収集した情報は、本調査の目的である大学・地域共創プラットフォーム香川や各構成員の参考資料としてのみ使用し、それ以外の目的に使用することはありません。

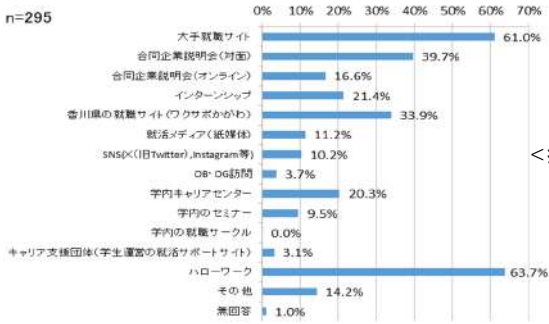
貴社の採用に関する基本事項についてお聞かせください。

（定義①）採用活動とは、正規雇用の採用に係る活動のことを指します。
（定義②）就職とは、大学・大学院・短期大学・高等専門学校の卒業生のことを指します。外国人留学生は除きます。

＜企業向けアンケート＞

＜新規学卒者の採用活動開始時期＞

＜新規学卒者の採用活動終了時期＞



＜採用活動における情報発信方法＞

キャリア支援研修会

県内大学生等のキャリア支援を目的として、就職活動のポイントを企業の人事担当者が解説

・実施日：10月24日（火）
・場所：高松大学・高松短期大学大ホール
・実施主体：香川短期大学
・参加企業：株式会社レクザム
・参加学生数：13名

業種別オンライン県内企業見学ツアー

香川県内企業による動画等を用いた業種別の企業説明会を開催

・実施日：８月23日(水),31日(木),9月６日(水)
・実施主体：香川大学
・参加企業数：県内企業18社
・参加学生数：86名

－地域活性化部会の主な取組み－

学生による観光資源の情報発信等

- 県内の観光資源を題材に、学生や地域おこし協力隊が主体となり、体験取材や記事作成を若者目線で実施し、県公式インスタグラムから情報発信
- 他の投稿を超える表示回数（リーチ数）を記録する投稿が多く、地域の魅力を知る機会を創出

大学生との連携

投稿日：9/7	10/25	10/26
3/15時点リーチ数：15,350	26,489	18,692

地域おこし協力隊との連携

2/27	2/28	2/29	3/1
8,019	12,472	14,526	13,038

アンケート調査の詳細分析等と対策検討

- 県内外の就職活動を終えた学生へのアンケート調査（R4年度実施）を基に、定性的な分析のため、大学生・企業社員へのインタビュー調査を実施
- ワーキンググループを中心に、両調査の結果から得られるポイントや今後の方向性（新規採用に限らず中途採用や外国人材の活用等にも視野を広げること、小学生～高校生に県内企業を知ってもらうことの重要性など）について議論、検討

事業概要

若者の県内定着促進のため、就職先選定時における学生の思考・行動や、就職時の若者の転出超過の要因について把握・検討し、今後の取組みにつなげていくことを目的として、令和４年度から5年度にかけて、以下の取組みを実施した。

①アンケート調査

- 令和5年1～2月に、就職活動を終えた県内外の大学生/短大生/高専生を対象にウェブアンケートを実施。
- 就職活動の実態や県内就職に係る意向等を調査。
- 470名が回答。

学生の傾向を定量的に把握

②インタビュー調査

- 令和5年5～8月，香川大学生及び若手社会人を対象に、インタビュー調査を実施。
- アンケート調査の結果を受け、就職活動思考や行動についてより詳細に把握することを目的とした調査。

定量データを定性的に深掘り

③ワーキンググループでの議論

- 令和5年10月に、2回開催。
- 部会の枠を超え、産学官の各主体がアンケート調査及びインタビュー調査の結果を基に、意見交換を行い、今後の方向性について議論。

今後の取組み等を議論

3

アンケート調査結果のまとめ	インタビュー調査結果のまとめ
➢ 大学進学で県外に出た学生は、半数以上が就職で県内に戻らず、大学進学で県内に来た学生は、大半が就職で県外に戻っている。	
➢ 給与・福利厚生が、就職活動開始時と就職先決定時のどちらにおいても最も重視されており、特に県外企業等に就職した学生や業界別では情報通信業、金融業・保険業に就職する学生において、その傾向が強い。また、回答者は、県内就職者を増やすために、県内企業等が給与を増やすべきと考えている。	➢ 給与と福利厚生では、福利厚生を重視する傾向にあり、特に家賃補助、残業手当は必須と考える学生が多い。 ➢ 給与では、初任給２０万円以上という基準を持っている学生が多い。 ➢ 情報通信業は、初任給２２～２３万円が基準であることが多い。 ➢ 公務員志望者は、給与の基準を設けていない。
➢ 県外就職を決めた理由として、希望する業種や職種の企業等があったことが最も多く、県内就職検討時に困難だったこととして、希望する業種や職種の企業が少なかったことが最も多い回答であった。業界別では、情報通信業、サービス業、製造業でその傾向が強い。さらに、回答者は、就職時期の県外転出が多い主な原因が、県内に働きたいと思える企業や仕事が少ないからと考えている。	➢ 希望する業種や職種を決めてから、企業等を探す場合が多い。 ➢ 希望する業種や職種の県内企業を知らない学生が多い。 ➢ 県内の情報通信業は、規模が小さく、顧客が限定されることで就職先の候補から外れる。 ➢ 県内企業もマイナビ・リクナビで情報収集しており、県の就職サイトの認知度は低い。
➢ 男性はより給与や企業の安定性、知名度など、仕事の条件やステータスを重視する傾向があり、女性は仕事の条件に加え、地元で働けることや職場の雰囲気、ワークライフバランスなど、仕事・生活の環境も重視する傾向がある。	➢ 「女性が表に立つ企業であることに共感」「将来、子育てがしやすい場所に住みたい」といった環境面を重視する女子学生の声がある。 ➢ 職場の雰囲気は、男女問わず、就職先決定時に重視するポイントとなっている。
➢ 女性の方が県内企業等への就職を検討した割合が高く、実際に県内企業等への就職をした割合も高い。	
➢ 就職先決定時に参考にした人の中で、両親が最も多い。	➢ ケースは少ないが、両親等の影響によって、業種や勤務地が学生本人の希望から変わる場合がある。
➢ 県内出身者は、大学や就職で県外に出ても、香川県への愛着を感じている。	➢ 県外出身者が大学在籍中に香川をよく知る機会に恵まれず、愛着を持てないまま県外に帰っていくケースがある。

25

関係案内所等の先進事例勉強会の開催等

- 産学官関係者が、県内の先進事例から地域活性化のポイント等を学ぶ勉強会を三豊市で開催
  講　師：瀬戸内ワークス(株)　原田　佳南子　代表
  テーマ：ローカルスタートアップや地域における人材育成の取組み
- 大学等教職員、学生、自治体職員、地域おこし協力隊、地域づくり団体など　39名が参加

★スタートアップを生むポイント

・欲しい未来を共有する	・チャレンジする仲間を増やす	・なぜやるかを10回問い続ける
・できないことはできる人とやる	・取るリスクを明確にする	・無責任な仕事をする

産学官関係者の連携強化に向けた交流促進

- 県内の産学官関係者がつながり、相互理解を深め、連携事業創出の基盤づくりを目的とする産学官連携交流会（各プレゼンテーション＋懇親会）を開催
- 大学等教職員、学生、経済団体職員、民間企業職員、自治体職員など、97名が参加
- 参加者アンケート結果：90%超が「大変良かった」「良かった」と回答
- 産学官で取り組みたい分野や次回以降のテーマ：防災、DX、Uターン転職、起業、農業・漁業など

＜産学官連携交流会の様子＞

資料４－１

大学・地域共創プラットフォーム香川
産学官共創チャレンジ支援補助金　交付決定事業一覧

	事業名	事業実施主体
1	高大連携キャリアデザイン研修	高松大学
2	香川わくわく子ども大学	徳島文理大学
3	薬剤師・薬学部に係る職業理解・進学促進	徳島文理大学
4	メタバースを利用した オンライン県内企業等見学ツアー	香川大学
5	地域中小企業の DX を推進する DX 人材育成教育プログラムの設計開発とその実践	香川大学
6	外国人材活用セミナー＆交流会	高松商工会議所
7	若手経営者と巡る 「キラリと輝く地元中小企業の魅力発見ツアー」	香川県中小企業団体中央会
8	アオ活! In 高松東高/香川短期大学/高松大学・高松短期大学	香川県中小企業家同友会
9	防犯アプリを活用した 陸と空からの防犯パトロールの推進	香川大学
10	県内産業の魅力認識と若者の地元定着意識 PLUS 事業	香川短期大学

高松大学

参画：高松大学、香川県立保健医療大学、香川大学、四国学院大学、徳島文理大学（香川キャンパス）、香川短期大学、高松短期大学、せとうち観光専門職短期大学、学校法人高宮学園代々木ゼミナール、高松商工会議所（株式会社ビットコミュニケーションズ、株式会社中央印刷）、香川県、高松市

高大連携キャリアデザイン研修

○事 業 概 要：(目 的)高等学校の保護者に対し情報提供を行うことで県内大学等への進学率向上に繋げる
(日 時)令和５年10月１日（日）及び同年12月９日（土）
(場 所)各高等学校及びかがわ国際会議場
(内 容)香川県高等学校ＰＴＡ連合会と連携し機関誌において大学等の情報を発信するとともに、専門家や大学等が会場において進路選択に係る講演やプレゼンを行う

○成果・評価：機関誌の特設ページや、専門家によるキャリアガイダンス及び大学等によるプレゼンでの学部・学科のアピールポイントなどが具体的な学びに繋がり、大変有意義であったなどの評価があった

○今後の課題：より有為な情報を保護者が受け取れるよう、実施方法、説明内容、時間配分等の検討

○交付決定額：334,000円

当取組みの問い合わせ先：高松大学
香川県高松市春日町960番地
（TEL）087-841-5920（URL）https://www.takamatsu-u.ac.jp/

徳島文理大学

参画：高松大学、香川短期大学、さぬき市商工会（大塩水産㈱、㈱木村海産）、香川県、高松市、さぬき市

香川わくわく子ども大学

○事 業 概 要：(目 的) 小学生の学習支援
(日 時) 令和5年7月22日（土）～11月25日（土）　延べ8日間　13講座
(場 所) 徳島文理大学、高松大学、香川短期大学、法然寺（高松市）
(内 容) 小学生を対象に、大学等の教員が講師を務める講座を開講
参加者数：小学生286名（親子232組）　応募数：762組

○成果・評価：学びの場を提供できたことで、学びに向かう力を育成し、課題発見能力や問題解決能力を高められた。講座への満足度は非常に高かった。（アンケート結果より）

○今後の課題：ニーズに対応できるよう、講座数を増やし講座内容を充実

○交付決定額：413,000円

当取組みの問い合わせ先：徳島文理大学 香川キャンパス　地域連携センター
香川県さぬき市志度1314-1
（TEL）087-899-7116（URL）https://www.bunri-u.ac.jp/

徳島文理大学

参画：香川県、西日本放送サービス株式会社、NTTコミュニケーションズ株式会社

薬剤師・薬学部に係る職業理解・進学促進

〇事 業 概 要：(目 的)薬剤師の魅力を伝え、薬剤師への興味喚起および薬学部への進学促進
(日 時)令和5年10月～12月で全6日
(場 所)県内高校5校で実施
(内 容)360°動画とVRゴーグルによるバーチャル施設見学（参加74名）
薬剤師と高校生のオンラインミーティング（参加10名）

〇成果・評価：参加者全員が大変満足、満足とアンケートで回答。薬剤師の雰囲気や業務が理解できたと多くが回答し、将来、薬剤師として働きたいとの回答もあった。

〇今後の課題：より効果的な内容への改良拡充、参加者増のため実施高校数・時期や時間を検討

〇交付決定額：1,490,000円

当取組みの問い合わせ先：徳島文理大学　香川薬学部　小林隆信
香川県さぬき市志度1314-1
（TEL）087-899-7462（URL）https://www.bunri-u.ac.jp/faculty/kg-pharmacy/

香川大学

参画：高松商工会議所、香川経済同友会、香川県、高松市

メタバースを利用したオンライン県内企業等見学ツアー

〇事 業 概 要：(目 的)県内大学等の学部１、２年生をはじめとする全学年を対象に、県内企業等への理解及び将来のキャリア意識の向上を図る
(日 時)令和5年8月29日（火）【自由見学期間】令和5年8月30日(水)～9月5日(火)
(場 所)Web（香川大学全学共通科目受講者は、学内講義室）
(内 容)メタバースを利用して企業等見学ツアーを実施。県内学生５０名が参加。
参加企業等は17団体で、最大6つのブースを訪問。

〇成果・評価：参加前後の学生アンケートを比較した結果、企業や業界に対する視野が広がり、自身の興味関心や仕事に対する意識が向上し、低学年生の今後の学生生活の目標達成への意識向上につながっていた

〇今後の課題：参加学生の確保、参加学生と参加企業等の参加目的のずれの解消など

〇交付決定額：912,000円

当取組みの問い合わせ先：国立大学法人香川大学　キャリア支援センター
香川県高松市幸町1-1
（TEL）087-832-1168（URL）https://www.kagawa-u.ac.jp/career/

香川大学

参画：株式会社リコージャパン，日本マイクロソフト株式会社、かがわ県民情報サービス株式会社、高松商工会議所

地域中小企業のＤＸを推進するＤＸ人材育成教育プログラムの設計開発とその実践

〇事 業 概 要：(目 的) 香川県内の中小企業のDX推進にむけた人材育成
(日 時)令和５年１２月６日（水）、令和６年１月２６日（金）
(場 所)香川大学、情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ
(内 容)ノーコード・ローコードシステムの開発スキルの習得

〇成果・評価： KadaiDX塾を２回開催し、約４４名が受講し、プログラムを修了した。またDXに関する取り組みをまとめた電子教科書「業務システム 内製開発 入門編」を発行した。

〇今後の課題：デザイン思考に基づく、DX推進スキルの中小企業への普及が今後の課題

〇交付決定額：3,960,000円

当取組みの問い合わせ先：香川大学　情報部　情報企画課　武田
（TEL）087-832-1024 （URL）https://dx-labo.kagawa-u.ac.jp/

高松商工会議所

参画：香川大学、学校法人穴吹学園、香川県

外国人材活用セミナー＆交流会

〇事 業 概 要
(目 的)外国人留学生等が本県の魅力に触れ、活躍できるよう、セミナーや企業との交流会を通じて県内就職支援等を行う。
(日 時)令和５年10月27日（金）
(場 所)高松商工会議所会館　２階　大ホール
(内 容)県内中小企業の経営者、人事担当者を対象に人手不足対策として、外国人材を知ってもらう機会を創出するため、セミナー及び企業と県内就職を希望する留学生との交流会を開催。外国人材の採用を検討している企業24社28名、及び就職を希望する留学生19名が参加した。

〇成果・評価
アンケート結果では企業からは外国人材を活用するための具体的なイメージを掴むことができた。参加者（外国人材）からは企業の本音が聞けたとの意見が多く、参加企業・参加者（外国人材）ともに満足度が高かった。

〇今後の課題
外国人材に向けて香川県で働くことに対して興味関心をひくPR。
県内企業における外国人材に対する理解の促進。

〇交付決定額：1,000,000円

当取組みの問い合わせ先
高松商工会議所 事業推進部 産業・人材課 小田（TEL）087-825-3518（URL）https://www.takacci.or.jp/

大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ支援補助金活用事業（7/10）

香川県中小企業団体中央会

参画：高松大学、香川県

若手経営者と巡る「キラリと輝く地元中小企業の魅力発見ツアー」

〇事 業 概 要：(目 的)県内高校生が地元企業で働くことを考えるきっかけとする
(日 時)令和５年７月21日（金）
(場 所)県内企業（泉鋼業㈱様、㈱アムロン テクノ香川 様、㈱川西水道機器 様）
(内 容)県内高校生（18名）がバスで県内企業を訪問し、
会社・工場の見学・体験やランチミーティング等を行う

〇成果・評価：参加者全員が「香川の中小企業の魅力について伝わった」とアンケートで回答
「県内にすごい企業があるのを知れた」や「入りたいと思った」等の意見あり

〇今後の課題：より多くの高校生が参加できるよう、開催時期や参加申込方法などの検討

〇交付決定額：375,000円

当取組みの問い合わせ先：香川県中小企業団体中央会　事業振興部
香川県高松市福岡町2丁目2番2-401号（香川県産業会館内）
（TEL）087-851-8311（URL）http://www.chuokai-kagawa.or.jp/

大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ支援補助金活用事業（8/10）

一般社団法人香川県中小企業家同友会

参画：高松東高校、香川短期大学、高松大学、香川県

アオ活！ in 高松東高/香川短期大学/高松大学・高松短期大学

〇事 業 概 要：　(目 的) 中小企業の魅力向上と中小企業の魅力や仕事の発信
「地域に若者を残す、地域に若者が希望を持って帰ってくる」環境を作っていくための
企業づくり(中小企業の成長)と地域づくり(若者が働くことを考えるキャリア教育の機会)
(場 所・日 時) 高松東高：令和５年９月８日(金)10～15時
香川短期大学：令和５年10月21日(土)10時半～16時・22日(日)10時半～15時
高松大学・高松短期大学：令和５年11月11日(土) 10時～16時・12日(日) 10時～15時半
(内 容) 文化祭・大学祭の場を活用し、県内中小企業が、高校生・大学生等を対象とする企業・事業の紹介をブース説明やワークショップで行った。（※延べ参加数：約537名）

〇成果・評価：　アンケート結果を見る限り、地域の大学生や高校生に地元企業の魅力に触れてもらう機会が創出できた。

〇今後の課題：　若者の業界研究・職業観の学習の場、「働くこと」を考えるキャリア教育の場として実施したが、ここに対してどこまでコミット出来たかが課題。若者が入社したくなる企業づくりに繋がったのか検証ができていないことが課題。

〇交付決定額：3,100,000円

アオ活！アンケート結果

高松東高参加者：約170名

香短参加者：約176名

高松大参加者：約191名

当取組みの問い合わせ先：一般社団法人香川県中小企業家同友会　事務局
香川県高松市林町2217-15香川産業頭脳化センタービル4F
（TEL）087-869-3770（URL） https://www.kagawa-doyukai.com/

大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ支援補助金活用事業（9/10）

香川大学

参画：香川県防犯協会連合会、香川県、エーワンセキュリティサービス

防犯アプリを活用した陸と空からの防犯パトロールの推進

〇事 業 概 要：(目 的)県内での防犯アプリを活用した陸と空からの防犯パトロールの実施
(日 時)令和５年9月～1月
(場 所)県内（県内小学校、県内のボランティア団体などで多数実施）
(内 容)県内小学校で防犯アプリを活用した防犯パトロールを実施し、県内の防犯ボランティア団体で防犯アプリを活用した防犯パトロールを実施した。

〇成果・評価：活動前後のアンケート調査により、調査の結果、参加者の防犯意識と防犯に関する能力が向上し、活動に対しても肯定的な評価が得られた。

〇今後の課題：より多くの市民が防犯パトロールに参加できるような広報の仕方検討

〇交付決定額：1,820,000円

当取組みの問い合わせ先：香川大学教育学部　大久保智生
香川県高松市幸町1－1
（TEL）087-832-1530（e-mail）okubo.tomoo@kagawa-u.ac.jp

大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ支援補助金活用事業（10/10）

香川短期大学

参画：高松短期大学,せとうち観光専門職短期大学,三豊市地域戦略課,(株)Draworth,東邦レオ(株),(同)DouxFlamme,琴平バス(株),(株)志々島ダイナミクス, BRアーティ(株),森さくら,Café トキ

県内産業の魅力認識と若者の地元定着意識PLUS事業

〇事 業 概 要：(目 的)特色と魅力ある産業と、地元学生が地元での就職や起業が可能である事を認識し、さらには広報活動を通して高校生へその魅力を伝える事を目的とする。
(日 時)2023年７月12日（水）～2024年１月３１日（水）
(場 所)主な活動場所：高松市・三豊市・宇多津町
(内 容)①県内事業者等による講義、②西讃地域と食に関わる事業視察、③短大連携ライブによる学外交流、④学生らによるﾎﾟｽﾀｰｺﾝﾃｽﾄの実施、以上４つのプロジェクトを実施した。

〇成果・評価：・実施後に都度アンケートをとり効果測定とした。魅力ある産業がある事や新規起業が身近であることを体験を通して実感してもらえた。また、学生の主体性が出てきていることは成果である。

〇今後の課題：・継続的な活動とする為に、連携して科目とすることも踏まえ構想を練る必要がある。
また情報発信力に関する課題も残る。

〇交付決定額：1,568,000円

当取組みの問い合わせ先： 香川短期大学 経営情報科 岩倉（情報処理第2）研究室
（TEL）0877-49-5593（URL） https://sites.google.com/kjc.ac.jp/challengeofsanukicolleges/

資料5

私立大学等改革総合支援事業及び中長期計画への対応について

【事業の趣旨】

「Society5.0」の実現に向けた未来を支える人材を育む特色ある教育研究の推進や高度研究を実現する体制・環境の構築、地域社会への貢献、社会課題を解決する研究開発・社会実装の推進など、自らの特色・強みや役割の明確化・伸長に向けた改革に全学的・組織的に取り組む大学等を重点的に支援する私立大学・短大等を対象とする文部科学省の補助事業。（取組に応じた申請ができるよう、4タイプを用意）

【中長期計画の策定】

中長期計画の策定は、タイプ3「地域社会の発展への貢献」（プラットフォーム型）の申請条件となっている。「中長期計画（2019年度～2023年度）」の計画期間終了に伴い、「中長期計画（2024年度～2028年度）～高等教育機関を基点とした地域の活性化～」（仮称）を令和6年度に策定予定。

資料６

大学・地域共創プラットフォーム香川
部会幹事・副幹事について

令和６年３月 31 日を以て、各部会幹事・副幹事の任期が満了します。

令和６年度から次期２年の各部会幹事・副幹事について、以下のとおり各部会において選任されましたので、ご報告します。

部会名	幹事	副幹事
進学・教育部会	徳島文理大学	四国学院大学
就職・産業振興部会	香川大学	香川県
地域活性化部会	香川県	香川県中小企業家同友会

資料７

令和5年度　名義使用の許諾について

令和６年３月 15 日時点

番号 種別	行事名	主催者	共催者又は 後援者	実施目的	対象者	内容	開催時期等
1 後援	第1回かがわ学生サークルアワード2023	一般社団法人香川学生支援会	【後援】大学・地域共創プラットフォーム香川	地域との連携・社会貢献などを行う学生サークルを発掘し、その活動を支援することで人材の定着や育成を図る	香川県内の学生サークル	ポテンシャルの高い学生サークルに賞を授与するアワードイベント	6/24
2 後援	高校生お弁当の日甲子園2023	香川短期大学	【後援】香川県、香川県教育委員会、宇多津町、香川県高等学校教育研究会家庭科部会、（公社）香川県栄養士会、大学・地域共創プラットフォーム香川	県内の農林水産物とその加工品の理解を深め、食を通じた健康づくりに取り組む	県内高校生及び近隣の県外高校生	「乾物を使った弁当」をテーマとした弁当を提案する	《募集期間》 7／10～ 9／19
3 後援	地質遺産の保全と利活用に関するシンポジウム	香川大学	【共催】（一社）四国クリエイト協会、香川大学博物館、讃岐ジオパーク構想推進準備委員会 【後援】香川県、香川県教育委員会、大学・地域共創プラットフォーム香川、土木学会四国支部、地盤工学会四国支部、日本応用地質学会中国四国支部	地質遺産の保全と持続可能な活用方法について共有し、地質遺産の価値を利活用するための適切な方法について考え、地域社会の発展に活かすことができる人材育成をする	香川県内の一般市民、行政機関、教育関係者	①基調講演：長谷川修一（香川大学特任教授） ②基調講演：川村教一氏（兵庫県立大学大学院教授） ③パネルデスカッション	8／28

4 後援	中高生のための薬剤師セミナー	徳島文理大学　香川薬学部	【後援】香川県、（一社）香川県薬剤師会、香川県病院薬剤師会、未来のSO-YAKUプロジェクト（㈱レディ薬局）、大学・地域共創プラットフォーム香川	中高校生に薬剤師の魅力を伝え、香川薬学部の進学者、並びに香川県で従事する薬剤師の増加を目指す	主として香川県内の中学生・高校生とその保護者、及び中学校・高等学校教員	講演、薬剤師体験会、進路相談	11/12
5 共催	2023年度香川大学危機管理シンポジウム	香川大学	【共催】（一社）国立大学協会、（降車）土木学会四国支部香川地区、（公社）土木学会安全問題研究委員会、大学・地域共創プラットフォーム香川 【後援】四国地方整備局、香川県、高松市、四国経済連合会、（公社）日本技術士会四国本部、香川県防災士会、かがわ自主ぼう連絡協議会、四国官学連携防災・減災協議会、四国５大学連携防災・減災教育研究協議会、NHK高松放送局、RNC西日本放送、TSCテレビせとうち、KSB瀬戸内海放送、四国新聞社	「香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構」の活動成果を地域に還元し、地域の安全・安心に寄与することを目的とするシンポジウムの開催	関係機関、企業、一般市民、香川大学教職員・学生	シンポジウム	12/4

6 後援	「アオ活！in 香川短期大学大学祭2023」、「アオ活！in 高松大学・高松短期大学大学祭（仮称）」	（一社）香川県中小企業家同友会	【後援】大学・地域共創プラットフォーム香川	学生・生徒の「業界研究・職業観学習」といったキャリア教育の場を提供する	大学祭参加者	業界を解説するブースを展開	10/21・22 11/11・12
7 共催	KadaiDX塾	香川大学	【共催】大学・地域共創プラットフォーム香川 【後援】リコージャパン㈱、日本マイクロソフト㈱、高松商工会議所、㈱STNet	香川県内の中小企業のＤＸ推進に向けた人材育成を行う	県内中小企業等社員	DX推進に関する講演、ノーコード・ローコードを習得するためのハンズオン講義	12/6 1/26

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）

「アートと科学技術による『心の豊かさ』を根幹とした イノベーション創出と地域に根差した課題解決の広域展開」

◆ 代表大学　東京藝術大学
◆ 連携大学　香川大学
◆ 参画機関　東京大学, 東京医科歯科大学, 東京工業大学

事業概要（研究力の向上戦略・計画の全体像）

東京藝大のミッション ／ 第４期の基本方針

芸術によって心豊かな活力ある社会を形成し、芸術をもって社会に貢献する
アートの力 ／ アートと異分野との融合による「社会的課題の解決」を全学的に推進する

研究力が向上した「10年後の大学ビジョン」

「一人ひとりの心の豊かさ」への眼差しを根幹として、17のゴール(SDGs)の垣根を融かし、
異なる専門性や科学技術との融合によるイノベーション創出と、
地域に根差した課題解決・社会実装について、国内外で中核的な役割を担う

NEXT SDGs

強み

多様性を尊重する価値観、人や地域の魅力を発見する力、心を動かす力、発想力・表現力など、
創立以来磨き上げ蓄積してきたアートの研究力(卓越性・多様性)と、人材が育つ環境・方法

課題

・地球規模の課題解決や社会変革に繋がるイノベーションを創出する機能
・地方自治体、産業界、金融業界等との協働を通じ、地域課題の解決をリードする機能
▶双方を相互的に強化し、アートの力や可能性を拡大・活用することで、未来の構想と創造に寄与
▶併せて研究環境・支援体制、マネジメント体制を整備し、持続的・安定的な実行体制を構築

本事業を通じて、３類型の「共創モデル」開発、アートのインパクト評価、共創を支える「運営モデル」構築を統合的に推進

1. 都市集積型の共創モデル

Artを基盤として、Science, Technology, Engineering, Medicalの最高峰の研究力と、まちづくりの知見・実践を結集し、多様なコンテンツやプログラムの開発・実装およびインキュベーションネットワークの形成などを通じて、都市のWell-beingと国際競争力を高める

2. 地域／地方型の共創モデル

地方の中核的な大学が有する「地域に根差した科学力／研究力および産学官ネットワーク」とアートの力を融合し、その地方・地域固有の環境・文化等の特色・資源を活かした課題解決・産業振興・人材育成の複合的な実装メソッドを確立する

3. 多文化共生型の共創モデル(社会モデル)

一人ひとりの多様性に焦点をあて、障害の有無、世代、性、国籍などの背景や習慣を超え、異なる文化の相互作用から新しい表現・価値を創出し、「社会包摂」や「福祉」のイノベーションを通じて、誰もが共生・共創しあう未来の姿・イメージを提示する

インパクト評価

アートと異分野との融合によるイノベーション創出および地域課題の解決について、社会的・経済的なインパクトを測定・評価するとともに、
インパクト評価の様々な手法や、創出されたインパクトを可視化・伝達する手法についても研究開発を行う(エビデンス集やロジックモデル集として成果を統合する)

運営モデル

産学・地域連携による共同研究／社会実装の領域拡大や規模・件数等の拡充について持続的な実行を可能とする体制・制度・環境等を整備するため、
研究環境・支援体制およびマネジメント体制の構築、それらを支える人材の育成、事業期間後の継続・展開を見据えた収支構造の転換を実施する

香川大学の取り組み概要

（アートと科学技術による「心の豊かさ」を根幹としたイノベーション創出と地域に根差した課題解決の広域展開）

香川大学 KAGAWA UNIVERSITY

「地域／地方型の共創モデル」開発

アートと科学技術を融合し、地域の特色・資源を活かした
課題解決のメソッドを確立

瀬戸内エリアのモデル課題に関する研究・イノベーション

海洋の課題に関する取組

（①生物多様性・資源量　②ブルーカーボン
③プラスチックごみ（海ゴミ））

◎**科学×アートによる「海の森」の創造（藻場造成）**

県産石材を利用して海藻が着生しやすく、魚が集いやすい形状をアーティストと共に探究する、アートと科学技術を融合させた藻場「海の森」を創造。ブルーカーボンにも資する豊かな海を取り戻す。見えない海の世界「海の森」を海中ドローン等を活用し「海中美術館」としてアートの手法により可視化し、訴求力のある発信を行う。

◎**栄養塩濃度の低下や漁獲量減少の原因解明や将来予測**

◎**マイクロプラスチック（海ゴミ）が人体や魚類等に与える影響の研究**

これらの取組にアーティストが同行。多角的な視点で観測・分析等を行うなどアートとの連携を通じ、地域社会に発信、貢献する手法を開発。

離島の課題に関する取組

（①コミュニティ再生　②モビリティ
③地域DX　④医療　⑤観光）

◎**コミュニティの形成・再生**

本学の研究、地域貢献の取組とアートを介したコミュニケーションの促進により、人々が豊かに働き、暮らし、そして緩やかなつながりのあるコミュニティの形成・再生を目指す。

◎**VR×アートによる新しいモビリティ実装・運用モデルの開発提案**

過疎化・高齢化した地域における持続可能なモビリティを、VR体験や実用化の段階でアートの手法を取り入れ、より魅力的かつ生活に即した形で、新しいモビリティの実装・運用モデルを開発・提案する。

◎**院内学級や島嶼部医療におけるDX**

◎**観光振興における地域課題の解決や環境保全と両立可能なモデルの提示**

これらの取組には、最新鋭の遠隔コミュニケーション装置を活用し、アート活動との連動を図る。

芸術×科学の融合による地域の課題解決を支える人材育成

◎**海洋・離島課題と連動した実践的な人材育成プログラムの開発**

2022 年度から東京藝術大学と香川大学・香川県が協力して開催している瀬戸内海分校プロジェクトをベースに、アーティスト（芸術）と研究者（科学）の双方の思考・手法を学習・修得するメソッドを開発する。

具体的には、島でのフィールドワーク、洋上アートラボ、海中調査など、サイエンスとアートの視点により「身近な瀬戸内海の見たことがない側面」に焦点を当て、学生等学習者が、より地域を支える環境資源として瀬戸内海が感じられるように、様々な体験的・実践的なプログラム（作品制作やワークショップ等）を実施する。

1

香川大学の取り組み概要

（アートと科学技術による「心の豊かさ」を根幹としたイノベーション創出と地域に根差した課題解決の広域展開）

香川大学 KAGAWA UNIVERSITY

「共創モデル」開発におけるインパクト評価及び手法開発

◎ **「こころの豊かさ」評価パッケージの開発、ならびに生体モニタリングによる定量的評価**

芸術のこころに与える影響「こころの豊かさ」はどのようなものであるのか、それを目に見えてとらえるための指標づくりや方法論の開発を行う。香川大学は、平成30年度、全国の国立大学ではじめて医学部に「臨床心理学科」を設置。「こころと身体のつながり」への理解をはじめとした医学的な素養や保健医療分野での実践的な教育研究を展開しており、この強みを活かして取り組む。

◎ **生物多様性保全・環境負荷低減：瀬戸内圏研究センターが長年蓄積してきた瀬戸内海調査データの活用**

◎ **コミュニティ再生・生活方式の転換：社会学的・計量心理学的手法、感性工学手法を活用**

運営モデルの構築・定着化

研究環境・研究支援体制およびマネジメント体制の構築

イノベーション・コモンズ「芸術未来研究場・瀬戸内エリア」の整備・活用

◎ **「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」により整備**

◎高松市庵治町鎌野の香川大学庵治マリンステーションの敷地内に３階建て、延べ床面積約500㎡の施設を建設中。

◎この施設は、研究者や学生、企業や自治体関係者等がワークショップ、イベントなどで柔軟に対話、交流でき、共創的研究等を促進するイノベーション・コモンズ　(共創拠点)として整備・活用する。

2